

ICT 活用研究班だより

NO.1 令和7年7月7日

令和7年度研究主題

情報を主体的に活用し、思考力・判断力・表現力を高めながら学び続ける子供の育成
～ICT を効果的に活用した学びの蓄積と、実践的活用を通して～

○今年度の研究のねらいと研究内容

「令和7年度伊勢崎市の学校教育方針」の中の『伊勢崎教育アクション4』確かな学力の向上では、自律した学習者を育てる指導の充実を掲げ、自らの学びの成果や課題を実感し、次の学びへ向かう態度を育てると述べられています。また、各種教育の重点として、情報活用能力を育てる為に、各教科等において、ICT 機器の効果的な活用を通して個別最適な学びや協働的な学びを促進することを目指しています。

そこで、今年度の ICT 活用研究班では、以下の2つの視点から研究することで、学校現場で「やってみたい」と思えるような実践を発信していきたいと考えています。

学びの蓄積と実践的活用

ICT を効果的に活用した学びの蓄積

継続的・系統的な実践的活用

オクリンクスで出し合った皆の考えをこれからも参考にしたいな。



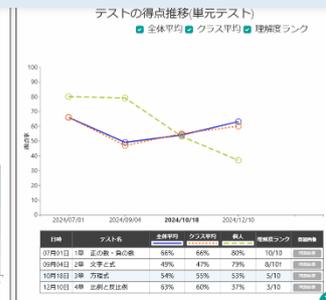
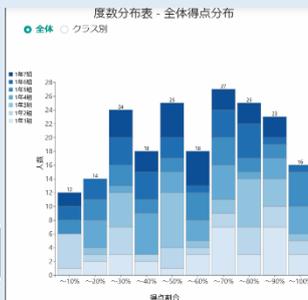
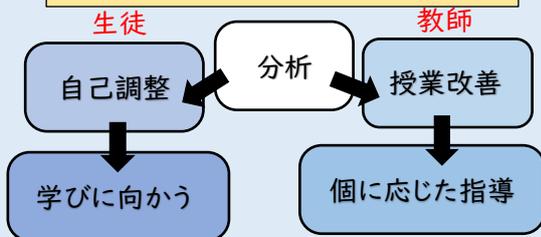
前回の授業でスプレッドシートに記録した疑問を今日の授業で解決したいな。

児童生徒の学びを蓄積することで、子供の変容や成長を継続的に把握できるようにする。

学び続ける児童・生徒の育成

デジタル採点システムの詳細集計機能の活用（中学校）

自律した学習者を育てる指導の充実



採点結果を基にした分析を、授業改善や個に応じた指導に生かすことで、指導と評価の一体化を実現できるようにする。また、採点データの分析方法及び効果的な活用方法を広める。